

(様式第2号)

|                 |     |
|-----------------|-----|
| 研究No.<br>(記載不要) | — — |
|-----------------|-----|

平成18年度配分 研究成果発表報告書(実績)

|                 |                                   |      |    |      |                            |
|-----------------|-----------------------------------|------|----|------|----------------------------|
| 研究名             | オーストラリアにおける多文化主義政策とエスニック文化の現在     |      |    |      |                            |
| 配分を受けた<br>特別研究費 | 学長特別研究費 3000 千円                   |      |    |      |                            |
| 研究者氏名<br>(代表者)  | 学部名                               | 学科名  | 職  | 氏 名  | 共同研究者                      |
|                 | 文化政策                              | 国際文化 | 教授 | 池上重弘 | 他 4 名                      |
| 発表の方法           | 1 紀 要<br>名 称:                     |      |    | 号 数  | 第 号<br>( 頁～ 頁)<br>( 年 月発行) |
|                 | 2 学会等での発表<br>学会等名:<br><br>詳細は別紙参照 |      |    | 発表日  | 平成 年 月 日                   |
|                 | 3 その他<br>発表の方法:<br><br>詳細は別紙参照    |      |    | 発表日  | 平成 年 月 日                   |

- ☐ 学会等での発表及びその他の場合は、学会報等発表を証する資料を添付すること。
- ☐ 配分を受けた翌年度の3月末までに提出

## 研究成果の実績報告の詳細(2008年4月24日現在)

### ■1■ 活字での発表

#### 1. 紀要

なし

#### 2. その他

下楠昌哉. 翻訳:キム・スコット「光の中へ」「捕獲」「すばる」特集:オーストラリア文学、第28巻第6号(2006年6月)253～66頁および上記作品の解説、266～68頁。\*備考:特集全体のプロデュースを行った。

### ■2■ 学会等での発表

#### 1. 学会・研究会での発表

池上重弘. 国際シンポジウム 多文化共生～オーストラリアから学ぶ

基調スピーチ「中部地域における多文化共生の現況とオーストラリアから学ぶこと」

パネルディスカッションにおけるコーディネーター 2007年1月27日 於名古屋国際センター

下楠昌哉. シンポジウム:『すばる』掲載作品の翻訳、解説をめぐって「オーストラリア・ニュージーランド文学研究大会、2006年11月25日、立命館大学衣笠キャンパス末川記念館第一会議室。(司会:佐藤渉立命館大学専任講師、共同発表者:有満保江同志社大学教授、湊圭史立命館大学講師)

下楠昌哉. 研究発表:“Dublin Bohemia,” IASIL (The International Association for the Study of Irish Literatures) Conference 2006, 21 July 2006 at The University of New South Wales, Sydney, Australia.

佐野真由子 「『伝統の守り方』——アボリジニー・アートの場合、ジャパニーズ・アートの場合」日本基層文化研究会(東京)、2006年12月23日

#### 2. 本学文化芸術セミナーでの発表

「オーストラリアの芸術と文化ー多文化社会の現在を見るー」2007年2月17日

【イントロダクション】池上重弘

浜松でオーストラリアに思いを馳せる

【報告1】下楠昌哉

ブッシュから多文化へー豪州ミニ文学史ー

【報告2】高田和文

オーストラリアにおけるイタリア系コミュニティの演劇活動について

【報告3】佐野真由子

アボリジニー・アートの「正しい展示」をめぐって

#### 3. 政策提言系の会合での発表

池上重弘. 第2回 静岡県多文化共生推進会議での委員講演

「移民の社会統合をめぐるオーストラリアとドイツの政策」

2006年11月15日 於静岡県庁別館9階第1特別会議室

### ■3■その他

池上重弘. 浜松日本語ネットワーク 設立総会記念講演

「オーストラリアにおける移民の言語教育についてー浜松での実践を考える糧として」

2007 年 10 月 28 日 於静岡文化芸術大学

池上重弘. 2006 年度「Mini 大学 in 榛原高校」

「多文化社会としての 21 世紀日本ーオーストラリアとの比較からー」

2006 年 10 月 20 日 於榛原高校

池上重弘. とよかわ市民大学専門講座「国際化探求コース」グローバル化と多文化社会 第4回講演

「オーストラリアのアジア系コミュニティーシドニーの事例ー」

2006 年 10 月 10 日 於豊川市勤労福祉会館

池上重弘. とよかわ市民大学専門講座「国際化探求コース」グローバル化と多文化社会 第3回講演

「オーストラリアの多文化主義」

2006 年 10 月 3 日 於豊川市勤労福祉会館

池上重弘. 静岡県西部高等学校英語教育研究会 夏期研修会 講演

「オーストラリアにおける移民のための英語教育と母語教育」

2006 年 8 月 4 日 於Uホール

## 国際シンポジウム

# 多文化共生～オーストラリアから学ぶ

過去半世紀以上にわたって世界各地から移民を受け入れ、民族的・文化的にさまざまな多様性をもつ国、オーストラリア――。

同国ニューサウスウェールズ州から「多文化共生の社会づくり」における行政やNGO、教育分野の関係者を招へいし、多文化主義政策の実状と課題を具体的な事例を通して理解するとともに、今後ますます多くの外国籍住民を迎える日本社会の進むべき方向性を一緒に考えるシンポジウムを開催します。

同時通訳つき  
入場無料

日時  
平成19年

1月27日 土

13:00～17:00

会場

名古屋国際センター 別棟ホール

主催

名古屋国際センター  
国際交流基金(ジャパンファウンデーション)

後援(予定)

外務省 総務省 愛知県 在名古屋オーストラリア領事館

### 第一部

13:00～15:10

基調スピーチ① 「中部地域における  
多文化共生の現況とオーストラリアから学ぶこと」

池上 重弘

(静岡文化芸術大学文化政策学部国際文化学科助教授)

基調スピーチ② 「オーストラリアの多文化主義政策」

ステパン・カーキアシャリアン

(ニューサウスウェールズ州多文化地域社会関係委員会委員長)

### パネリスト事例報告

### 第二部

15:30～17:00

### パネルディスカッション

対 象：外国人住民の支援に携わる行政、NGO/NPO、ボランティア、学校教育関係者はじめ、  
多文化共生の社会づくりに関心のある方

定 員：200人(要予約・先着順)

申 込 み：平成19年1月11日(木)から(定員になり次第締め切り)

申込方法：電話またはe-mailで受け付けます。

e-mailの場合は、件名を「多文化共生オーストラリア」として、住所、氏名、電話番号、  
所属団体(ある方のみ)を明記してください。

申込み  
お問い合わせ

名古屋国際センター交流協力課 民間交流係  
TEL 052-581-5689 e-mail vol@nic-nagoya.or.jp



# 国際シンポジウム 多文化共生 ～オーストラリアから学ぶ

平成19年 1月27日 土  
13:00～17:00

パネリスト

## ステパン・カーキアシャリアン

ニューサウスウェールズ州  
多文化地域社会関係委員会 (CRC) 委員長



キプロスのアルメニア人の家系に生まれる。オーストラリアに移住 (1967)。ラジオ放送局2EAにアルメニア人向け番組を設立 (1976)、同局長、CRC委員長、「人種差別に反対する評議会」議長。また、アボリジニ・先住民コミュニティと協働で先住民による放送局を設立 (1982)。ポーランド政府から「金の十字勲章」受賞 (1990)、国際オリンピック委員会からシドニーオリンピックへの功績により「オリンピック勲章」受賞 (2000)。

パネリスト

## ディノ・ザパコスタ

グリフィス (Griffith) 市長



イタリアから家族とともに移住 (1949)。教師を務めた後、ワイン製造とワイナリー開発に従事。多文化の問題にも長年にわたり関わってきた経歴をもつ。CRCグリフィス地域諮問委員会など数多くの委員会のメンバー。グリフィス市議会議員に初当選 (1987)。副市長を10年間務め、2006年9月から現職。

パネリスト

## リチャード・ジョン・エイチソン

CRC多文化社会関係サービス部長



中央政府、州政府の政策、企画、財務監理部門で豊富な経験をもつ。公共部門で数多くの上級職に就き、中央政府レベルの委員会で州代表を務める。州青少年諮問協議会、州青少年更生協議会メンバーを歴任。州知事功労賞受賞 (2003)。アボリジニや太平洋諸島出身住民のコミュニティからもその功績を賞賛されている。

パネリスト

## ヴァイオレット・ルメリオティス

キャンタベリー・バンクスタウン  
移住者資料センター (MRC) マネージャー



シドニーでギリシャ人の家系に生まれる。現在、工業大学の経営学修士課程に在籍中。MRCでは移住者社会、難民、熟練工移住者、小規模・新興地域社会の支援活動に従事。シドニー南東部地域保険評議会評議員、少数民族社会に焦点を合わせた政府関係評議会、諮問委員会のメンバーを務める。

パネリスト

## ジハード・ディブ

男子高校副校長



レバノン生まれ。10代よりさまざまな地域活動に参加。各地域社会組織委員会、CRC、教育省、州政府のプロジェクトにも参加、指導的な役割を担う。イスラム教徒社会あるいは地域社会の雄弁なリーダーとして、その活躍が各メディアで報じられている。学生交換プログラムでこれまで2度来日。日本文化に触れたり、雪の降る岡崎でゴルフの経験も。

コーディネーター

## 池上 重弘

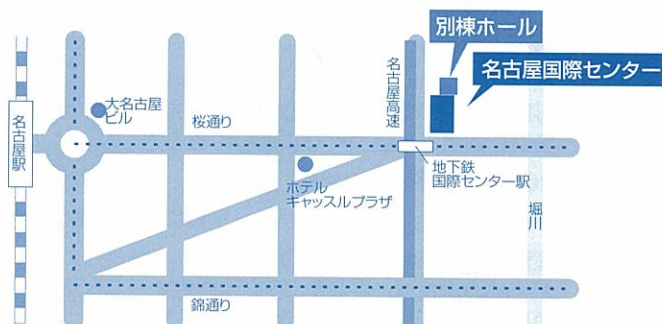
静岡文化芸術大学文化政策学部国際文化学科助教授



北海道大学大学院文学研究科終了。インドネシア大学に留学 (1990)。2001年から現職。外国人集住都市会議 (静岡・群馬地域ブロック) アドバイザー、外務省海外交流審議会外国人問題作業部会専門委員、静岡県多文化共生推進会議委員などを歴任。96年から外国籍住民の増加による地域社会の変容をめぐる実証研究に従事。多文化社会論への関心から、オーストラリアのインドネシア人コミュニティに焦点を当てた現地調査を進めている。主著に『ブラジル人と国際化する地域社会—居住・教育・医療—』(編著、明石書店)、『国際化する日本社会』(共著、東京大学出版会) など。

会場

名古屋国際センター 別棟ホール



名古屋市中村区那古野一丁目47番1号  
市地下鉄桜通線「国際センター」駅下車すぐ





静岡文化芸術大学

SUAC

オーストラリアに思いを馳せる

SUAC文化芸術セミナー

# オーストラリアの 芸術と文化

多文化社会の現在を見る

参加  
無料

【コーディネーター】池上重弘(国際文化学科助教授・研究代表者)

【報告1】下楠昌哉(国際文化学科助教授)

【報告2】高田和文(国際文化学科教授)

【報告3】佐野真由子(芸術文化学科講師)

2007.2.17 [SAT]

開催時間  
質疑応答・休憩含む

13:30～16:00

【会 場】

静岡文化芸術大学 南棟2階 南281中講義室

※事前申し込み不要。

当日直接会場へお越しください。

【主 催】

静岡文化芸術大学 文化芸術研究センター  
「オーストラリアにおける多文化主義政策と  
エスニック文化の現在」研究チーム





SUAC文化芸術セミナー

# オーストラリアの芸術と文化

—多文化社会の現在を見る—

## 【イントロダクション】

池上重弘(国際文化学科助教授・研究代表者)

## 浜松でオーストラリアに思いを馳せる

2004年度より3年間にわたり、静岡文化芸術大学学長特別研究の資金助成を受け、オーストラリアの多文化主義をめぐる学際的研究プロジェクトを進めてきました。3年間のプロジェクト終了にあたり、とくに文化芸術の側面に焦点をあてた研究成果の報告を行い、研究成果を広く地域の皆様と共有したいと思います。

## 【報告1】

下楠昌哉(国際文化学科助教授)

## ブッシュから多文化へ～豪州ミニ文学史～

近代国家としての歴史に限ってみるならば、オーストラリアは白人が入植してから現在まで、220年ほどの歴史しかない若い国です。この国では白人がやって来る以前も、そして現在も、英語以外のさまざまな言語が話されてきましたが、「オーストラリア文学」と言う場合、通常英語で書かれた文学作品を指します。英語で書かれたオーストラリア文学の歴史を見てゆきながら近代国家オーストラリアの歴史を概観した後に、現代オーストラリアで活躍する多様なバックグラウンドを持つ作家たちを紹介します。

## 【報告2】

高田和文(国際文化学科教授)

## オーストラリアにおける イタリア系コミュニティの演劇活動について

イタリア系オーストラリア人は、オーストラリアの全人口約2000万人の1割以上を占め、イギリスなどのアングロ系に次ぐ大きなコミュニティを形成しています。彼らはヨーロッパ人でありながら、言語・宗教・食文化など多くの点でアングロ系とは異なる伝統を維持し、独自の文化的アイデンティティを形成してきました。そうしたイタリア系文化の1つに、イタリア系の劇団・劇作家による演劇活動があります。

このセミナーでは、シドニー、メルボルン、アデレードで活動する主要な劇団・劇作家を取り上げ、イタリア系コミュニティの演劇活動について報告します。また、それを手がかりとしてオーストラリアの多文化主義政策の現状について考察します。

## 【報告3】

佐野真由子(芸術文化学科講師)

## アボリジニ・アートの「正しい展示」をめぐる

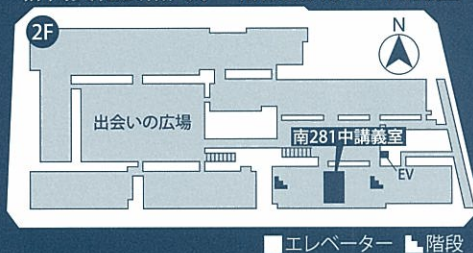
アボリジニと総称されるオーストラリア先住民族の文化は、いまや、オーストラリアという国のイメージを代表するものとなっています。シドニー・オリンピックの開会式や、オーストラリアのお土産物を飾る、アボリジニ絵画の特徴的なモチーフを思い浮かべる方も多いでしょう。しかし、こうして象徴的に活用される一方、彼らの作品は、西洋のまなざしによって構成された美術館の空間において、美術品としての正当な評価をされてきませんでした。その扱いを改善するために、近年、さまざまな努力がなされています。そうした努力の実際とその困難について、19世紀に西洋と出会った日本美術の場合とも比較しつつ、考えてみたいと思います。



静岡文化芸術大学

## 会場

静岡文化芸術大学 南棟2階 南281中講義室



## お問い合わせ

静岡文化芸術大学  
文化政策学部国際文化学科  
池上研究室

TEL 053-457-6156

FAX 053-457-6156

E-mail: ikegami@suac.ac.jp

静岡文化芸術大学

企画室

TEL 053-457-6113

http://www.suac.ac.jp/

E-mail: kikaku@suac.ac.jp

## 交通アクセス

〒430-8533 浜松市中央二丁目1番1号

TEL 053-457-6111(代)

FAX 053-457-6123(代)

浜松駅から、徒歩約15分。

※本学へお越しの際は、公共の交通機関をご利用ください。



## バスをご利用の場合

遠鉄バス(10分間隔で運行しています)

浜松駅北口バスターミナル10番のりばから出ているバスは、全て静岡文化芸術大学を通ります。バス停「文化芸術大学」下車

浜松市循環まちバスく・る・る  
(15分間隔で運行しています)

浜松駅北口バスターミナル12番のりば「まちなか東ループ」バス停「文化芸大」下車  
※大学から浜松駅へ向かうときは「まちなか西ループ」にお乗りください。





オーナーの厚意で5回目を迎えた浜松養護学校の作品展。浜松市三島町のギャラリー響で

## 豪の「多文化」研究発表

静岡文化芸大 教員ら成果報告 「浜松のヒントに」

オーストラリアの芸術や文化を通して多文化社会の現状を考える研究発表会が十七日、浜松市中央二丁目の静岡文化芸術大で開かれ、約七十人が研究内容に耳を傾けた。同大の教員らが資

料を使いながら研究の成果を報告した。このうち「アボリジニ・アート」の発表では、オーストラリアの先住民・アボリジニが手がける現代美術作品への正当な

## 絵画や書道、力作50点 浜松養護学校生徒の作品展

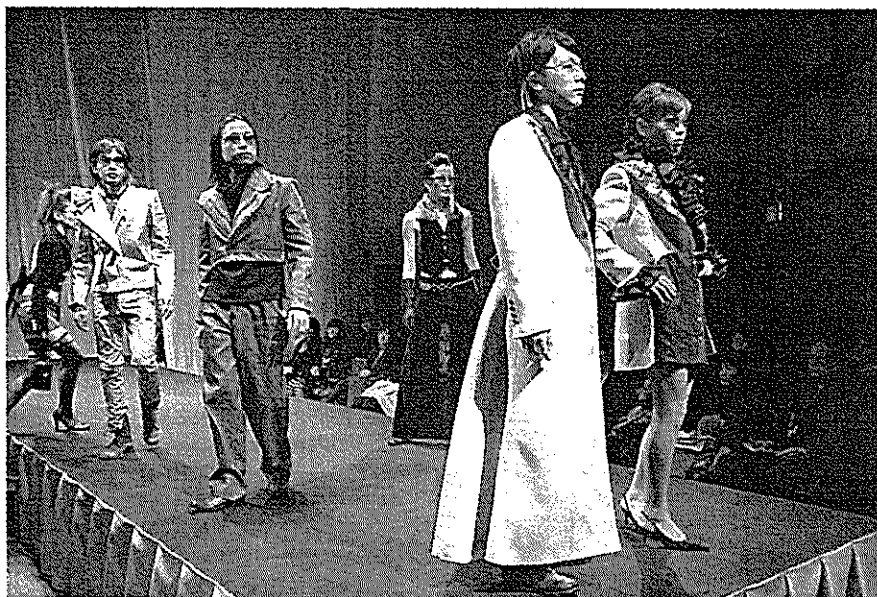
画、書道、工芸品などの作品展が十七日、浜松市三島町のおしゃれ工房ギャラリー響で始まった。校外に展示し市民にも見てもらおうと、オーナーの田中房子さん（63）が協力を申し出て四年前から会場を無償提供している。二十五日まで（十九日は休み）。入場無料。

作品は小学部、中学部、高等部が授業で創作した個人作品と共同制作計約五十点。中学部一年山田大画（たいが）君のクレヨンと水彩画で秋を表現した「小さな木の実」は、二〇〇六年度全国盲聾（ろう）養護学校文化祭造形・美術部門で県代表二点のうちの一点に選ばれた力作だ。中学部二年の生徒全員で手づくりした和太鼓もひときわ目を引いている。二十三日には高等部が校内の体育館でバザーを計画している。



評価を求める取り組みが、アボリジニの自決権

## 独創性あふれる衣装でポーズ



工夫を凝らした衣装が披露されたファッションショー＝浜松市のJR浜松駅ビルメイワンで

「Join together」をテーマに五つのチームが約五カ月かけて制作に取り組んできた。磐田市福田地区のオリジナルブランドの特殊なコーデュロイ生地を使ったリ、ビニールや紙などの素材を積極的に取り入れたりと工夫を凝らした。カラフルな照明に照らし出された舞台では、独創性あふれる衣装が次々と披露され、観客を魅了した。実行委員長の佐藤由香里さん（60）は「みんなで楽しんで舞台を作ることができた。多人数で一つのものを作り上げて、よい経験になりました」と笑顔で話していた。

## 華麗ファッションショー

東海文化専門学校

東海文化専門学校（磐田市）のファッションデザイン科とクラフトデザイン科の生徒約四十人が手がけたファッションショー（中日新聞東海本社など後援）が十七日、浜松市のJR浜松駅ビルメイワン八階エアロホールで開かれた。（角雄記）

ターを務めた同大の池上文化都市」となった浜松重弘助教は「研究に携わった教員らは、自分にとってほしい」と意義を語るとして専門外であるオー（中根政人）

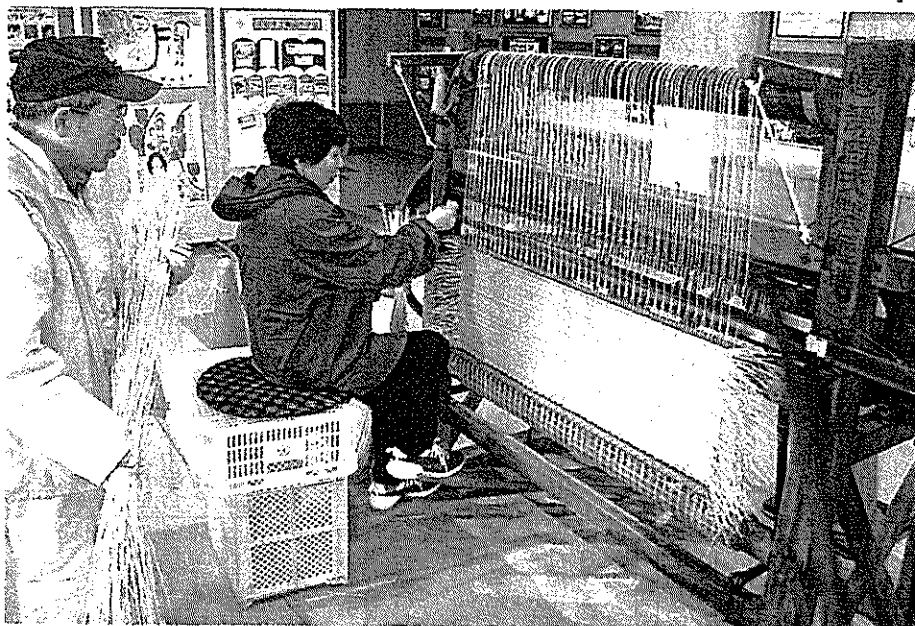


駒一 リークで二度演ずるの首位打者に輝き、一九七一年に駒大野



浜松市シルバー人材センター細江事務所が盛んだった歴史を知ってもらう狙い。織機を操る職人は地元で一人だけとなり、細江伝統の技の伝承を願って実演見学を呼び掛けている。(佐野和広)

# 細江を支えた伝統産業



畳表織機を使い、イグサで畳表を織る星野さん＝浜松市細江町の奥浜名湖田園空間博物館総合案内所で

## 畳表づくりの歴史知って

細江町は一七〇七年、大地震で発生した大津波に見舞われ、稲作が被害を受けた。当時の領主近藤用随(もちゆき)公が一七六六年、塩害に強い農作物としてイグサを導入、農家に畳表づくりを奨励したのがはじまりとされる。

その後、畳表づくりは町内に広まり、イグサ栽培も盛んに行われ、毎年秋には都田川堤防が天日干しのイグサで埋まったという。一九七〇年以降はミカン栽培が本格的に始まりイグサ栽培は大きく減少。七五年ごろには栽培する農家はほとんどなくなった。

実演会は同町の「市姫

### 江戸時代からの技術継承願

## 生産農家らが織機実演

街道と銅鑼(どうたつ)の歴史民俗資料館に収蔵され、一九五五年に使われていた足踏み式畳表織機を同案内所に運んで開催。今もイグサで畳表づくりを続けている同町中川、星野秀雄さん(ふゆや)がこれまで生産していた農家二人が協力した。

星野さんの妻咲江さん(ふく)が昨年秋、収穫したイグサを使って畳表を織った。咲江さんによると、一畳分織るのに二時間かかるという。

シルバー人材センター細江事務所では、二十六日まで計七回の実演会を毎日午前十時と午後一時半から開催し、最終日二十六日は午前九時から正午まで、入場無料で見学自由。問い合わせは田園空間博物館総合案内所(電話053(527)1120)。

## 浜松・遠州版

ニュース情報は下記へどうぞ

浜松・報道部 053 (421) 6036 (FAX) 053 (421) 52  
新居支局 053 (594) 0224 (FAX) 053 (595) 0006  
細江通信部 053 (523) 0661 (FAX) 053 (523) 2674  
天竜通信部 0539 (25) 2540 (FAX) 0539 (22) 0003  
浜北通信部 053 (587) 5831 (FAX) 053 (586) 7911  
静岡総局 054 (255) 2121 (FAX) 054 (255) 2124  
豊橋総局 0532 (52) 7181 (FAX) 0532 (54) 4655

### 購読のお申し込み

0120-139-739

### 広告のお申し込み

053(421)9118

### 折り込みのお申し込み

053(466)0547

## 空き蔵活用 ライブ公演

天竜で23日

浜松市二俣町にある空き蔵を活用したツアームユージャン伊太大地山伝

兵衛さんのライブコンサートが二十三日午後八時から、同町クロバー通り「ヤマタケの蔵」で開催される。

ライブは、地元のデニム服屋パイラルが主催。問い合わせはパイラル0539(25)6001。

## 「自信持たせ選手」

駒大野球部前監督 太田さん

駒沢大野球部の前監督で浜松やらまいか大使を務める太田誠さん(ご)を講師に迎えた講演会が十六日夜、浜松市二俣町の天竜王生ホールで開かれた。天竜青年会議所が主催し、JC会員や市民ら約百人が来場して太田さんの話に聞き入った。

テーマは「スポーツは人なり人生なり」。「御大」の愛称で名物監督として知られる太田さんは、来場者はじっと耳を傾けていた。



監督の前で、同市生まれで、駒大に進学した太田さんは、